

2008 年度 小委員会活動成果報告

(2009 年 2 月 12 日作成)

小委員会名	壁式構造配筋指針改定小委員会	主 査 名：上之園隆志
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (壁式構造運営委員会)	委員長名：和田 章 主 査 名：勅使川原正臣
設 置 期 間	2008 年 4 月 ～ 2012 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>現行の「壁構造配筋指針」は 1987 年 11 月に初版を発行し 19 年が経過し、21,700 部が発行され、広く会員に活用されてきたところである。この間、JIS の改正、S I 単位系の導入、中層型枠コンクリートブロック造設計規準(案)の刊行などがあり、また関連する標準仕様書である JASS 5 鉄筋コンクリート工事や JASS 7 メーソンリー工事などが改定されており、内容を整合させる必要が生じている。</p> <p>上記の拝啓より、現行「壁構造配筋指針」の名称を「壁式構造配筋指針・同解説」として改定するための作業を行うことを小委員会の目的とする。</p> <p>2008 年度：「壁式構造配筋指針改定原案」(WG 成果)に基づく解説・図の検討 2009 年度：「壁式構造配筋指針改定(本文・解説案)」の作成および検討 2010 年度：「壁式構造配筋指針改定(本文・解説案)」の作成 2011 年度：運営委員会・構造本委員会の査読に基づく本文・解説の修正ならびに「壁式構造配筋指針・同解説」編集</p>	
委員構成 (委員名(所属))	<p>委員公募の有無：無</p> <p>上之園 隆志((財)ベターリビング)、五十嵐 泉(神奈川大学)、時田 伸二((独)都市再生機構)、青木 功(エスビック(株))、植松 武是(北海道立北方建築総合研究所)、岡部 喜裕((有)力体工房)、加村 隆志(日本工業大学)、隈澤 文俊(芝浦工業大学)、古賀 一八((株)日東コンクリート技術事務所)、田中 材幸((株)アールエス)、新妻 尚祐(新妻鋼業(株))、前田 敏雄((有)前田建築構造事務所)、増田 正樹(大成建設(株))、松村 晃(神奈川大学)、向井 智久((独)建築研究所)</p>	
設置 WG (WG 名：目的)	<ul style="list-style-type: none"> ・基本事項検討WG：第1編(第1章～第7章)の解説・図の検討ならびに本文案の作成 ・壁式RC造配筋検討WG：第2編第8章の解説・図の検討ならびに本文案の作成 ・補強組積増配筋検討WG：第2編第9章～第12章)の解説・図の検討ならびに本文案の作成 	
2008 年度予算	150,000 円	ホームページ公開の有無：なし 委員会 HP アドレス：なし

項 目	自己評価
委員会開催数	小委員会 2 回 WG 計 18 回
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 壁式構造配筋指針改定原案(WG 成果)に基づく解説部分・配筋図の検討ならびに本文案の作成を行った。
委員会活動の問題点・課題	1. 広い分野を担当するため、各分野間の連絡調整が重要である。